

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	屋外空気環境小委員会	主 査 名：富永禎秀 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (空気環境運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：大岡 龍三
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>快適な屋外空気環境の形成に重要となる課題について、現状の技術水準を明らかにするとともに、それらを適切に利用するための技術資料を論文や刊行物として整理することを目的とする。</p> <p>初年度：ガイドブックの刊行、講習会の開催 2 年度：研究成果及びガイドブックの広報、風環境評価体系の課題整理 3 年度：風環境評価体系の課題整理、新たな体系化に向けた議論 4 年度：新たな体系化案のとりまとめ、公表</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：富永禎秀 (新潟工科大)、幹事：菊本英紀 (東大生研) 委員：義江龍一郎 (東京工芸大)・飯塚悟 (名古屋大)・大岡龍三 (東大生研)・持田灯 (東北大)・大風翼 (東京工業大)・白澤多一 (大妻女子大)・有波裕貴 (新潟大)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>・CFD による風環境評価手法検討WG (主査：大風 翼) CFD の有する、瞬時値の予測が比較的容易 (LES の場合)、温度場の予測も可能ななどのメリットを活かした新たな風環境評価手法について検討する。</p>	
2020 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む) (うち主査幹事打ち合わせ 1 回)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 名 (資料名)
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 小委員会および傘下 WG 委員間で風環境評価体系についての課題認識や論点の整理を行うことができた。</p> <p>2. 小委員会としての今後の活動の方向性を議論し、ある程度の方向性を共有することができた。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	会議の開催が十分でなかった。定期的に情報交換ができる体制が望ましい。

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2020 年度開催予定の空気シンポジウムの企画・立案を昨年度から行っており、『都市の風 50 年：これまでとこれから』として予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、シンポジウムのテーマが『新型コロナウイルス感染対策への取り組み』に変更されたため、実施されなかった。 ● 小委員会および傘下 WG において、現状の風環境予測・評価の課題を共有するとともに、今後の小委員会の活動方針・内容の方向性を確認した。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 風洞実験に基づく風環境評価の体系は概ね 1980 年代に確立され、現在もほぼそのままの形で用いられている。しかしながら CFD 等の新しい予測技術の発達、ヒートアイランド・地球温暖化による都市の暑熱環境の悪化、タワーマンションの増加などの都市の居住環境の変化、建設事業のグローバル化等、風環境評価を取り巻く環境は大きく変わってきている。 ➢ AIJ-ES などの諸基規準の枠組みで予測・評価手法をどのように体系化していくかも重要な課題であり、さらなる情報収集や意見集約を行う必要がある。 			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。